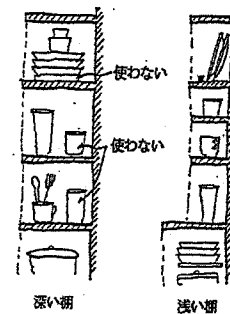


あ

浅い棚は使いやすい棚。
棚の後ろに隠れたものは
使えない。

TAKUMIYA ARCHITECTS

あ さいたな



収納するものに合わせて
奥行を決めよう

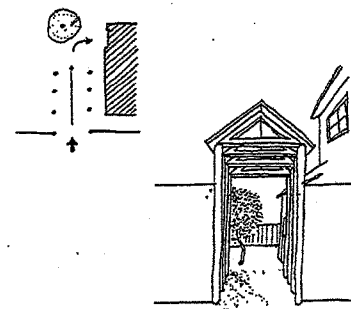
TAKUMIYA ARCHITECTS

い

入り口で
ちよっと場面転換してみると、
住まいの質もアップ。

TAKUMIYA ARCHITECTS

い りぐちでの ばめんてんかん



植栽や光、視線、高低差
色々使ってみよう

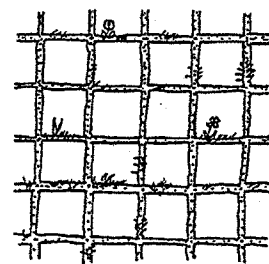
TAKUMIYA ARCHITECTS

う

潤う地面にしたいなら
隙間をあけて
舗石を敷こう。

TAKUMIYA ARCHITECTS

う るおうじめん



温かみのある外部空間
ができる

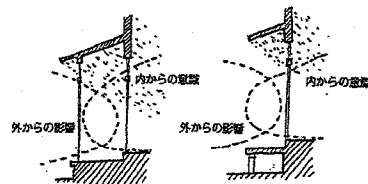
TAKUMIYA ARCHITECTS

え

縁側は
外部と内部を取り持つ
魔法の場所。

TAKUMIYA ARCHITECTS

え ながわ



廊下じゃなく外部につながる
縁側、土間でもいい。

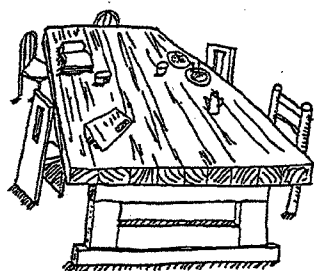
TAKUMIYA ARCHITECTS

お

大きな机は
家族の濃密な
共有空間。

TAKUMIYA ARCHITECTS

お おおきなつくえ



家族の歴史が刻まれるような
素材がいいね

TAKUMIYA ARCHITECTS

か

感じる気配

障子で仕切れば

程よいつながり

き

北側を死んだ空間に

してはいけません。

工夫次第で生き返る。

く

くつろぐ所は

座れる窓辺。

け

玄関は大切な場所。

通路じゃなくて

小さな部屋と考えよう。

こ

構造体は

力強い優れた

装飾。

TAKUMIYA ARCHITECTS

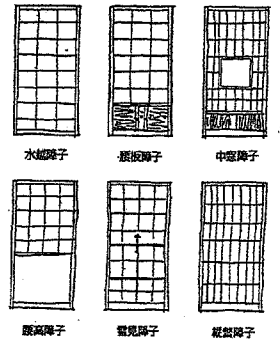
TAKUMIYA ARCHITECTS

TAKUMIYA ARCHITECTS

TAKUMIYA ARCHITECTS

TAKUMIYA ARCHITECTS

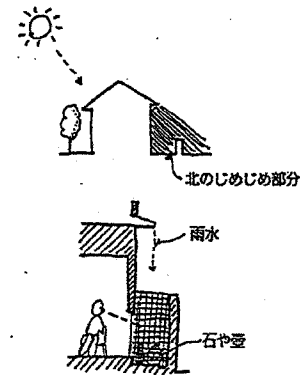
か んじるけはい



障子ほど豊かな表現の
できる建具はある？

TAKUMIYA ARCHITECTS

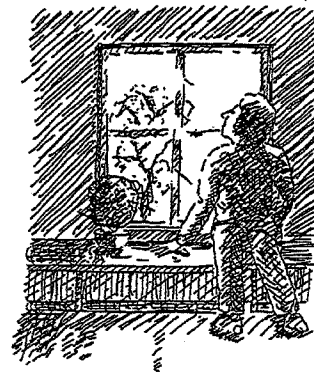
き たがわ



植栽や光、視線、高低差
色々使ってみよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

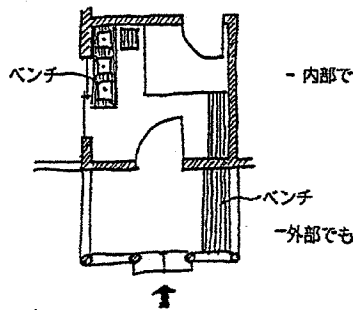
く つろぐところ



室内から出やすい空間
にするとよい

TAKUMIYA ARCHITECTS

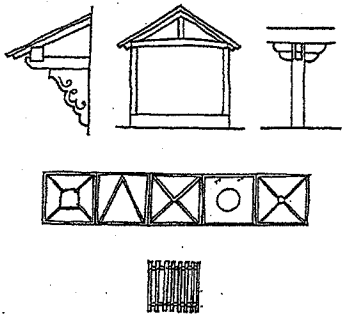
け んかん



狭くてもベンチや窓で工夫
してみよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

こ うぞうたい



構造体を露出したら
と考えてみよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

さ

採光は上からとると
部屋におちついた
中心ができる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

し

親密さの度合いにあわせ
部屋の配置を。
居心地よさの基本です。

TAKUMIYA ARCHITECTS

す

座ったり寝そべったり
できる家は
くつろぐ住まい

TAKUMIYA ARCHITECTS

せ

生活の流れ
に沿った
空間のつながり

TAKUMIYA ARCHITECTS

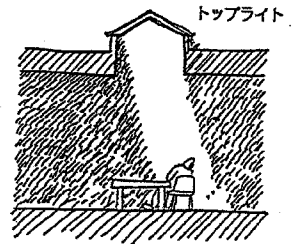
そ

それぞれに選んだ
椅子やベンチは
生活の色。

TAKUMIYA ARCHITECTS

さ

さいこう

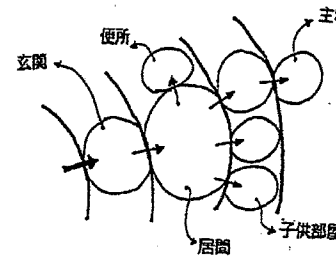


遮光も考えておかないと
いけません。

TAKUMIYA ARCHITECTS

し

んみつさの どあい

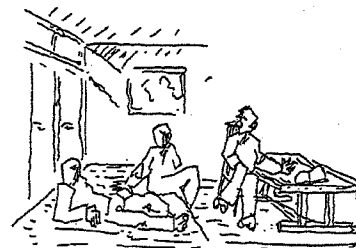


パブリックと
プライベートの区別

TAKUMIYA ARCHITECTS

す

わったり ねそべったり

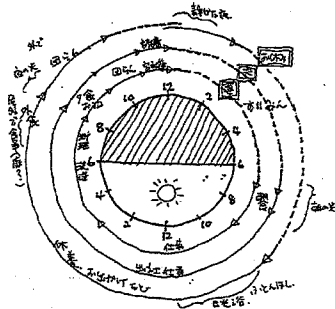


くつろぎかたにも
人それぞれ、その時々

TAKUMIYA ARCHITECTS

せ

いかつのがれ

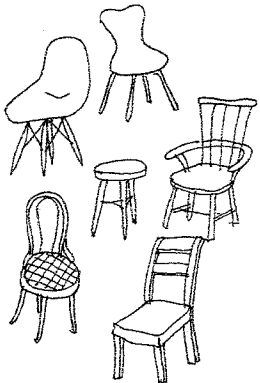


一日の日常の生活の仕方に
あわせて空間をチェック

TAKUMIYA ARCHITECTS

そ

れぞれにえらぶ いすやべんち



椅子や家具を統一する
必要はないのです。

TAKUMIYA ARCHITECTS

た

暖房や冷房は

一年の生活で
考えてみよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

ち

ちよつとだけ見えるのは
すべてを開放するより

いい感じ。

TAKUMIYA ARCHITECTS

つ

月日に耐え人とともに

時を刻む木は

天からの贈り物。

TAKUMIYA ARCHITECTS

て

天井の高さや床の高さの

変化は、生活に

表情を与える。

TAKUMIYA ARCHITECTS

と

通る風を感じる

生活は

快適そのもの。

TAKUMIYA ARCHITECTS

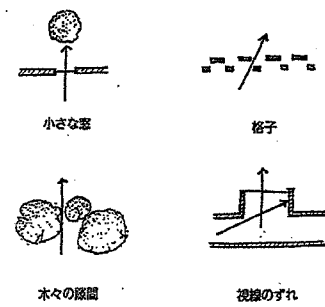
た

 んぼうや
れいぼう

寒い時には暖房を、暑い時
には冷房を心配しがち

TAKUMIYA ARCHITECTS

ち

 よつとだけ
みえる

大きな窓より小さな窓が
よく見えることもある

TAKUMIYA ARCHITECTS

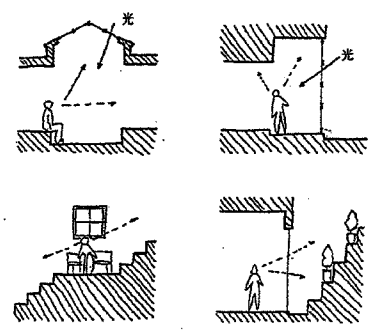
つ

 きひにたえる

ながい目でみると
木は維持がしやすい

TAKUMIYA ARCHITECTS

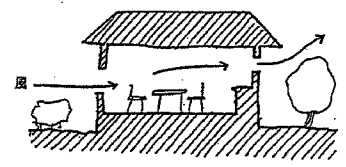
て

 んじょうのたかさ
ゆかのたかさ

高さの変化に乏しい
住まいは楽しくない。

TAKUMIYA ARCHITECTS

と

 おるかぜ

敷地や周りの建物を
意識し通風を考えよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

な

中庭は

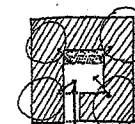
生きた外部空間を

生み出す。

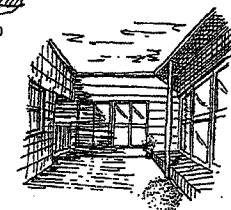
TAKUMIYA ARCHITECTS

な

かにわ



外部とのつながり



室内に広がりを持たせる
ような中庭がいい

TAKUMIYA ARCHITECTS

に

二面の採光がある部屋は

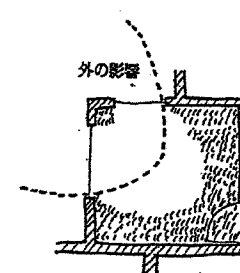
外からの親密な雰囲気

伝わり心地よい。

TAKUMIYA ARCHITECTS

に

めんさいこう



外の影響

くつろぐ場所は狭くても
二つの面に窓を作ろう

TAKUMIYA ARCHITECTS

ぬ

ぬくもりを感じる

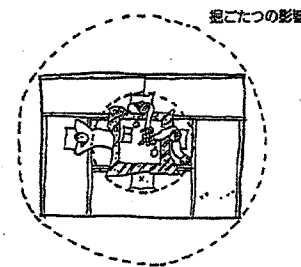
掘りごたつは

生活の中心になる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ぬ

くもりかんじる



掘りごたつの影響

他の場所も使われるように
配置を考える。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ね

寝る場所には

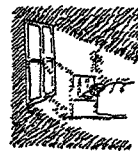
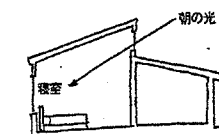
朝の光を

届けよう。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ね

るばしょ



部屋が東に面していなくても
東の光を入れることもできる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

の

上り下りの階段も

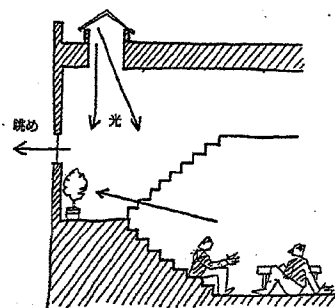
座れば

りっぱな椅子になる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

の

ぼりおりの
かいだん



眺め

踊り場に洗面やベンチ
植栽などを置いてもいい。

TAKUMIYA ARCHITECTS

は

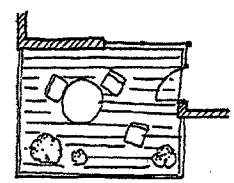
バルコニーは
一間くらいないと
使えない。

使えない。

TAKUMIYA ARCHITECTS

は

るこにー



ゆったりしたバルコニー

狭いバルコニーは
物置になりがち

TAKUMIYA ARCHITECTS

ひ

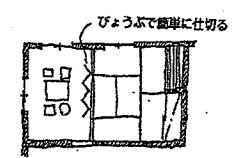
びょうぶは
程よい仕切りの
立役者。

立役者。

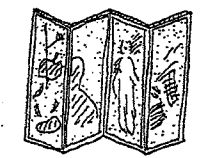
TAKUMIYA ARCHITECTS

ひ

ょうぶ



びょうぶで簡単に仕切る



様々なびょうぶが出来る

和風といったことに
こだわらなくていい

TAKUMIYA ARCHITECTS

ふ

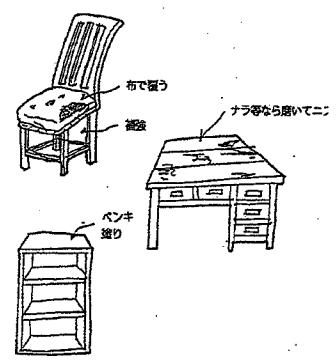
古い家具に
自然と漂う
存在感。

存在感。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ふ

るいかぐ



塗り替えや、補修で
生き返り生活に密着する。

TAKUMIYA ARCHITECTS

へ

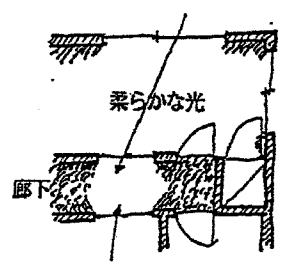
部屋をつなぐ
室内窓は家に
広がりをもたらす。

広がりをもたらす。

TAKUMIYA ARCHITECTS

へ

へやをつなぐ



お互いの様子が、窓を
通じて伝わる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ほ

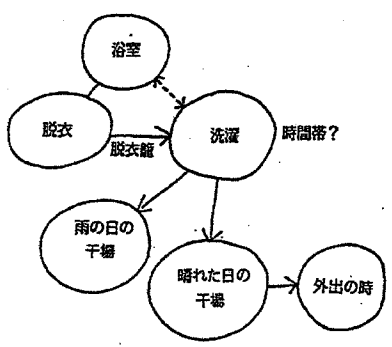
干す場所は
生活の動線と視線の
工夫のしどころ。

工夫のしどころ。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ほ

すばしよ



雨が多く湿気が多い日本
では洗濯物の干場は大切。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ま

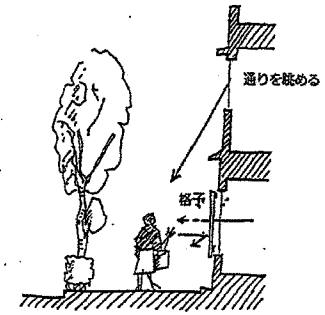
町の生活が見える

部屋は、何故か
心もウキウキ。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ま

ちがみえる



人の生活の気配がないと
息苦しい

TAKUMIYA ARCHITECTS

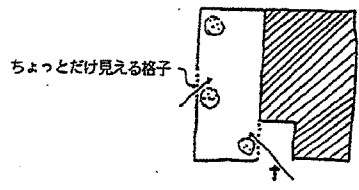
み

見えたり隠れたりする庭は
町との程よいつながりが
生まれる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

み

えたり
かくれたり



町とはつかず離れずの
関係がいい

TAKUMIYA ARCHITECTS

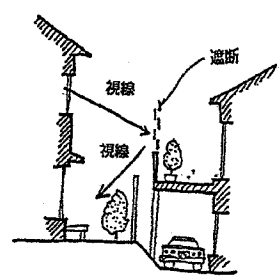
む

向かいの家の視線が
気になると、せつかくの場所も
使われない。

TAKUMIYA ARCHITECTS

む

かいのいえの
しせん



部屋を決めたら
視線をチェックしよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

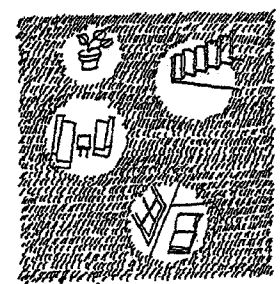
め

明暗の織りなす空間は
生活に豊かさを
もたらす。

TAKUMIYA ARCHITECTS

め

いあんのおりなす
くうかん



光と影の中で、人は
色々おもいをめぐらす。

TAKUMIYA ARCHITECTS

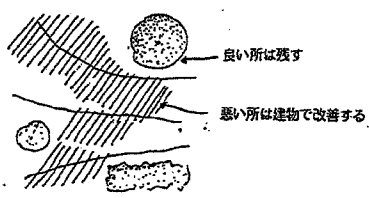
も

もとある敷地の
良さをいかした
家の配置。

TAKUMIYA ARCHITECTS

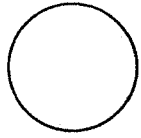
も

とあるしきの
よさ



建物は敷地の悪いところを
改善する。

TAKUMIYA ARCHITECTS



わ

わずかな場所も

うまく囲むと

くつろぐアルコーブ。

TAKUMIYA ARCHITECTS

よ

夜の帰途

自分の家の光が見えると

うれしくなる。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ゆ

ゆったりできる

ベンチで、一人眺める

庭の時。

TAKUMIYA ARCHITECTS

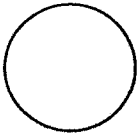
や

野生の庭も

程よい手入れで

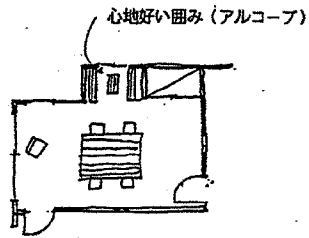
生命力に満ちた庭になる。

TAKUMIYA ARCHITECTS



わ

ずかなばしょ



二人くらいが座れる
スペースがあればいい

TAKUMIYA ARCHITECTS

よ

るのきと



どのように光が漏れるか
考えてみよう

TAKUMIYA ARCHITECTS

ゆ

ゆったりできる
ベンチ



腰掛があるといいな
と思ったらその場所に

TAKUMIYA ARCHITECTS

や

せいのにわ



あまり手入れしないなら
野生を生かすのもいい

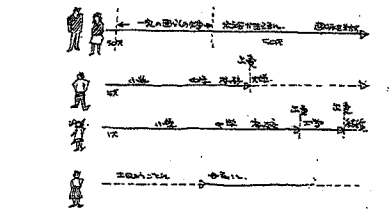
TAKUMIYA ARCHITECTS

ら

ライフプランから
見えてくる家の
維持。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ら



プランどおりにはいかないけど
維持できるようには考えよう

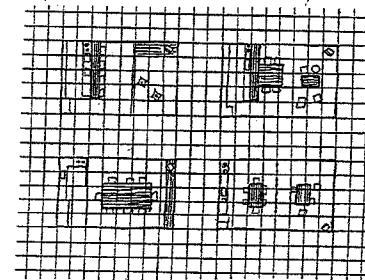
TAKUMIYA ARCHITECTS

り

料理と食事のつながりは
住まいの軸

TAKUMIYA ARCHITECTS

り



台所を生活の中で
どう位置づけするか

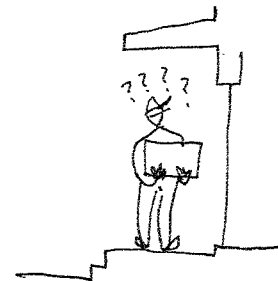
TAKUMIYA ARCHITECTS

る

留守の家に届く
物にも
置き場がほしい。

TAKUMIYA ARCHITECTS

る



防犯や年を取った時のことも
考えておきたい。ができる

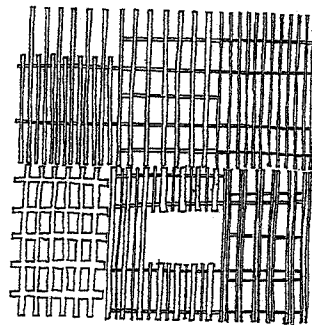
TAKUMIYA ARCHITECTS

れ

連続する格子の
リズムは
光のリズム。

TAKUMIYA ARCHITECTS

れ



防犯、視線、仕切り
日本の生活には欠かせない。

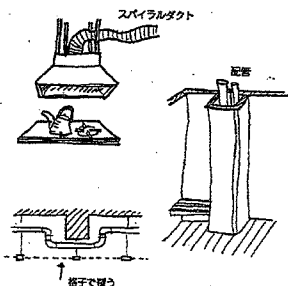
TAKUMIYA ARCHITECTS

ろ

露出もつまく生かせば
維持もしやすい
設備の配管。

TAKUMIYA ARCHITECTS

ろ



設備の維持が容易な家は
住みやすい家

TAKUMIYA ARCHITECTS